

論文・書籍の調べ方

過去研究などを調べる時、研究を進める時どのように調べていけば良いのか？と困っている生徒を見かけます。そんな人はまずは論文や書籍を調べて読んでみることをおすすめします！そこで、今回は正確な情報を載せている論文や書籍をどのように見つけるかを教えたいと思います。ネットの情報は素早く手に入れますが不確実な情報も多いため研究には不向きな部分も多いので是非文献をあたってみてください。なお、下の文献検索方法は大学生などが使用やり方ですが、みなさんでも十分に有効活用できますので是非一度使ってください。早めに触れておくと大学生になって得しますよ！

1,論文の探し方

○「CiNii(Citation Information by Nii 「サイニイ」)

国立情報学研究所が管理している論文情報ナビゲーターです。論文情報だけでなく、論文の要約も読めます。無料でアクセスできるのが魅力です。「J-stage」も同様の論文が見られます。

○「Google Scholar」

Google の学術的な検索サービスで国立情報学研究所が大学などに提供してきた学術論文データを Google による検索対象にしたことにより、国内の主要学術論文を見ることができるようになりました。英語などの外国語文献を探することもできるためとても有効です。

2,書籍の探し方

○各市町村・沖縄県（図書館）

各市町村・沖縄県（図書館）にはホームページがあります。まずは、各ホームページの検索エンジンから必要な書籍があるか検索してみてください。

○「Amazon」

みなさんになじみのある、大手ネット販売業者です。英語文献も含む世界の多くの文献を網羅しているので、文献を探すのにも最適です。本のあらすじも紹介されているためだいたいの内容を把握できます。

○「カーリル」

日本最大の図書館検索サイトです。県外の図書館、県内の図書館の蔵書を探すのに優れています。琉大や沖縄など県内大学や市町村の図書館の蔵書も探せるのでとても便利です。

○「国立国会図書館」

日本で出版される書籍・雑誌類などはすべて網羅されています。国内の出版物を探すのであれば最適です。

3、その他の方法

○引用文献・参考文献からたどる

論文や書籍の最後には引用文献、参考文献がまとめて記載されています。この方法はとても便利で確実に早く関連のある書籍を手に入れることができます。また、複数の本や論文で引用されている文献は、そのテーマに関する基本的で重要な文献であることが分かるので有益です。

4,最適な一冊を見つけるために

探した論文や書籍は一度ネットに検索をかけて「あらすじ」を確認してください！この世界には論文や書籍が山のようにあります。その中からみなさんの研究にあった論文や書籍を見つける必要があります。そのためには、一度読む前に「あらすじ」を確認しないと、限られた時間の中でうまく研究を進めることができなくなります。慣れてくると、文献を探す能力もアップしてきます。是非たくさん検索して、取り寄せたり、図書館に行ったり最高の一冊を見つけてください(^o^)健闘を祈ります